

KYOTO JOURNAL OF PHYSICAL EDUCATION, HEALTH AND SPORT SCIENCES

京都 体育学 研究

京都体育学研究
第二十一卷

ORIGINALS

Naoko SANO et al. : COP analysis of stability limits while standing3

Tadao ISHIKURA : The characteristic of exercise motivation, social skills and feelings of loneliness after adolescence, and that relevance11

PRACTICALS

Kohji YAMAGUCHI et al. : The product of ballroom dance classes focused on the change of consciousness 25

Tadashi WADA et al. : The Exercise Intensity during Continuous tennis training in the Middle-aged and Older People37

Edited by Kyoto Society of Physical Education,
Health and Sport Sciences

Volume 21/ September 2005

故 川畑愛義先生を偲んで 1

原著

佐野奈緒子他 : 立位姿勢における安定限界の足圧中心分析 3

石倉 忠夫 : 青年期以降の運動意欲、社会的スキル
そして孤独感とそれらの関連性11

実践研究

山口 孝治他 : 学習者の意識の変容からみたボールルームダンス
学習の有効性に関する研究25

和田 匡史他 : 中高齢者における継続的な
テニストレニング中の運動強度37

京都体育学会だより No.2845

平成十七年九月

京都体育学会

第 21 卷
平成17年 9 月

「京都体育学研究」編集・投稿規定

平成14年6月29日一部改正

1. 「京都体育学研究」(英文名 Kyoto Journal of Physical Education, Health and Sport Sciences 以下本誌)は、京都体育学会の機関誌であり年一回以上発行する。
2. 本誌は本学会会員の体育・スポーツに関する論文の発表にあてる。編集委員会が認めた場合には会員以外に寄稿を依頼することもできる。
3. 1編の論文の長さは本誌8ページ以内を原則とする。
4. 原稿は、所定の執筆要項に準拠して作成し、原著、資料などの別を指定して編集委員長あてに提出する。原文のほかにコピー3部提出する。
5. 投稿論文は、学術論文としてふさわしい内容と形式をそなえたものであり、かつ未公開のものでなければならない。
6. 投稿論文は編集委員会が審査し、その掲載の可否を決定する。
7. 原稿の印刷において規程のページ数を超過した場合、あるいは、図版・写真などくに費用を要するものは、その実費を執筆者の負担とする。
8. 別刷は校正時に希望部数を申し出ること。実費により希望に応じる。
9. 本誌の編集事務についての連絡は、「京都体育学研究」編集委員会あてとする。
10. 編集委員会は理事会において編成する。




ベスト・コンディションの形成と維持。
すべてのアスリートが自らに課す、
そのテーマに取り組む
コンディショニングウェア CW-X。
人間工学に基づいて開発された独自の機能で、
筋肉をサポートし関節を安定、
運動時の筋肉疲労を軽減するサポートギアを中心に、
着用空間を快適に保つ
アンダーギア、アウターギアといった
トータルなラインアップで、
アスリートを肉体的かつ精神的に
コンディショニングします。

ウェアの可能性を 追求する

コンディショニングウェア CW-X [シーダブリューエックス]

・ワコールCW-Xはイチロー選手とアドバイザー契約を結んでいます。
・CW-Xは、欧米・アジア各国にて数々の特許を有する、ワコール独自の機能商品です。
・CW-Xに関するお問い合わせはこちらまで。
株式会社ワコール/お客様センター フリーダイヤル 0120-307-056
オンラインショッピングができるホームページアドレス www.cw-x.com

 ピンクリボン活動(乳がん早期発見)を株式会社ワコールは支援しています。

 株式会社ワコール

